



福山大学

FUKUYAMA UNIVERSITY

学 報

2026.7.10 Vol.189

三蔵五訓

真理を探究し、道理を实践する。
豊かな品性を養い、不屈の魂を育てる。
生命を尊重し、自然を畏敬する。
個性を伸展し、紐帯性を培う。
未来を志向し、可能性に挑む。

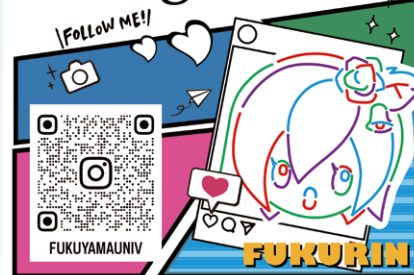


6月20日(土)オープンキャンパスのーコマ

揺るぎなく前進！

卒業生の就職状況及び充実した就職支援	1
卒業生のコメント	2
新入生へのメッセージ	3
学内トピックス	5
研究活動	9
学内人事	11
財務状況	13
入学試験の概要	15

福山大学 公式
Instagram



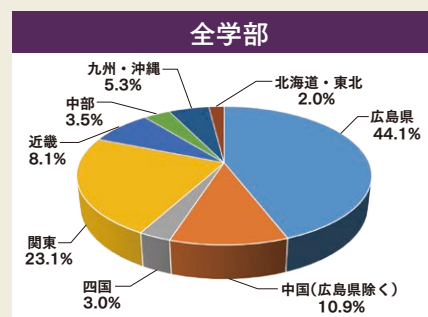
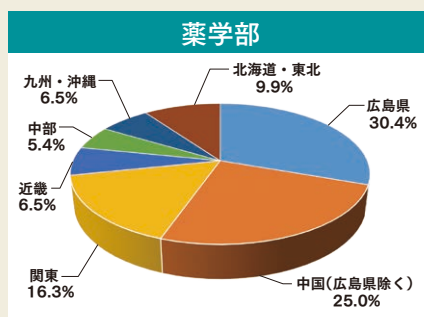
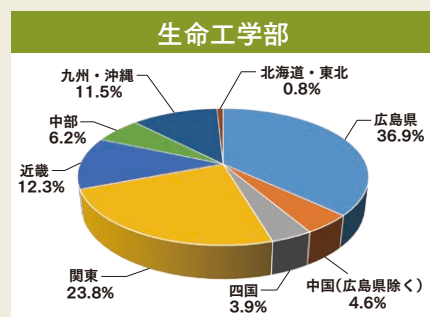
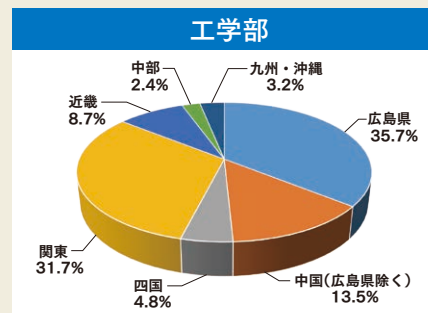
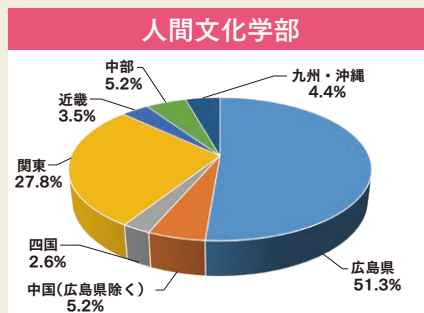
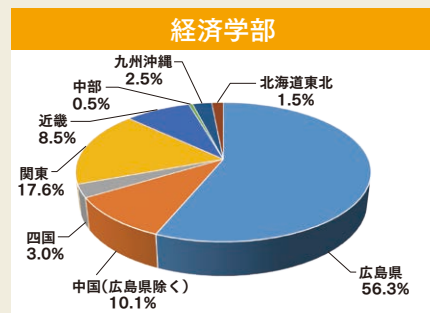
令和7年度の就職状況

令和7年度に福山大学が受付けた求人は2,809事業所からでした。就職情報サイトのWEB 募集等を加えれば、例年通り安定した求人数を維持しています。また、令和7年度における卒業生の就職率は99.7%で、広島労働局が公表した県内大学生就職率の96.6%を大きく上回っています。また、文部科学省が公表した全国の大学の就職率は98.0%で、福山大学の就職率の高さが窺えます。

福山大学において就職を希望する学生の就職率はほぼ100%で、この状況は過去10年間以上続いています。

令和7年度卒業生の地域別進路状況は、広島県を中心とした中国地方が最も多く、続いて関東、近畿、九州・沖縄、中部、四国、北海道・東北の順になっています。各学部・全学部の状況は、下記のとおりです。

令和7年度 地域別進路状況



福山大学独自の就職支援の取り組み

本学では、学生一人ひとりが少しでも希望する職業に就けるよう、ゼミ担当教員を中心に各学部・学科から選出された就職委員や就職課職員が一体となった独自の下記プログラムによる就職支援を行っています(令和8年度予定)。

国家検定「キャリアコンサルティング技能士1級」保有の職員が行う就職相談や面接練習は、学生の希望する日時に随時対応しています。また、個別指導としては、学生が希望する職種・業種・企業名について進路希望票を提出させて、ゼミ担当教員や就職課職員が確認したうえで適切な指導・支援を行っています。教職員が一丸となって、一人の学生に対し多方面から一貫性のある就職支援を可能にしています。

さらに、学生は学内ネットワークのWEB 就職システムを利用し、大学で受付けた求人票を学内だけでなく自宅からでもパソコンやスマホを使って閲覧・検索が可能です。

また、就職活動においても説明会や面接をWEB または対面にするなど、目的や状況に合わせて使い分ける企業も増えてきました。そのため、本学においても、WEBでの就職活動に対応した様々なセミナーを実施し、さらに、これまで通りの対面や電話・メールでの相談だけでなく、WEB による相談対応も実施しております。今後も、学生一人ひとりの気持ちに寄り添いながら就職支援を続けていきます。

令和8年度実績

1. 就職ガイダンス

- 第1回就職ガイダンス:5月
これからの就活と自己分析
- 第2回就職ガイダンス:6月
履歴書の書き方と自己PR作成
- 第3回就職ガイダンス:10月
就活の基本と社会人のマナー
- 第4回就職ガイダンス:12月
求人票の見方・企業選びの基準
- 第5回就職ガイダンス:1月
業界説明会の回り方

2. 就職試験等対策講座及び就活セミナー

- 業界研究・業種研究
- WEB 就職模擬テスト
- 小論文・作文講座
- 経営者による模擬面接会
- グループディスカッション講座

- エントリーシートの書き方
- 知って役立つワークルールセミナー
- 就職体験発表会
- 身だしなみ・メイクアップ講座(対面)
- 企業見学会 バスツアー

3. 学内合同企業説明会および業界説明会

- | | |
|---------------------|---------|
| 5月 6年生薬学対象 | 合同企業説明会 |
| 5月 4年生対象 | 合同企業説明会 |
| 9月 3年生建築系企業対象 | 業界説明会 |
| 11月 3年生IT系企業対象 | 業界説明会 |
| 12月 3年生海洋系企業対象 | 業界説明会 |
| 2月 3年生・留学生対象(薬学部除く) | 業界説明会 |

4. 企業個別説明会

- 4年生対象 学内個別企業説明会

5. 就職活動に関する個別対応

- 履歴書・エントリーシートの添削

- 面接(個人・集団)対策
- グループディスカッション対策

6. 学生参加型の学外イベント

- ジョブサミット(広島県中小企業家同友会主催)
- 就活応援ラジオ(福山商工会議所主催)

7. 個別の就職相談

- 国家検定「キャリアコンサルティング技能士1級」保有職員による相談
- ハローワーク福山
就職支援ナビゲーターによる相談

卒業生のコメント

小畑 さくら 経済学部経済学科（令和8年3月卒業） 就職先：広島県



大学入学当初は、将来どんな仕事に就きたいか明確には決まっていませんでした。しかし、1年次から続けた塾講師のアルバイトを通して、人の成長を支えることにやりがいを感じ、公務員という進路を意識するようになりました。3年次からは公務員講座を受講し、就職課や先生方のサポートを受けながら、安心して就職活動に挑むことができました。また、ゼミ活動やオープンキャンパス、ローカルジョブサミット、三蔵祭、スチューデントアシスタントなど、仲間とともに多くの経験を積むことができました。同級生だけでなく、高校生や地域企業の経営者、後輩、他大学の

学生など、さまざまな立場の方々と関わる中で、多様な考え方に触れ、自分自身の成長につながったと感じています。大学生活には、挑戦を通して新しい自分を発見できる機会がたくさんあります。後悔しないよう、今できることを一歩ずつ積み重ねてください。

山本 暁 人間文化学部心理学科（令和8年3月卒業） 就職先：福山市役所



私は、皆さんに「何事にも諦めず挑戦する気持ち」を大切にしてほしいと思います。私は昔から人前に出るのが苦手でした。しかし、そんな自分を変えたいと思い、心理学科で盛んに行われている防犯ボランティア活動に参加するなど、さまざまなことに挑戦していきました。最初は不安ばかりで、「自分には無理かもしれない」と思うこともありましたが、仲間と支え合いながら努力を続け、困難を乗り越えることができました。活動の中で「地域の人の役に立つ仕事がしたい」という思いを強くし、将来の夢であった福山市役所の職員として、今働くことができています。こ

れは、何事にも諦めず挑戦し続けたからこそ得られた結果だと思っています。社会に出ると大変なことも多くありますが、学生時代と変わらず、「挑戦する気持ち」を大切にしながら今も頑張っています。

皆さんも、これから辛いことや大変なことがたくさんあると思います。しかし、自分のペースで一歩ずつ諦めずに挑戦し続けてください。皆さんのこれからの活躍を、陰ながら応援しています。

片山 麻人 工学部建築学科（令和8年3月卒業） 就職先：ケーアンドイー株式会社



私が就職した会社は、トータルリノベーションを行う会社です。リノベーションとは、今ある建物を長く使うために、定期的なメンテナンスや修繕を行う仕事です。建築というと、住宅やビルを新築するイメージがあると思いますが、土地には限りがあるため新築をし続けることは不可能です。そのため、リノベーションは建物を長く使うために欠かせない仕事であり、これからの日本を支える重要な仕事だと自負しています。

私は大学在学中、バレーを愛する会に所属し、部長を務めていました。その中で関わった同級生たちとは多くの

旅行を共にし、学生時代だけでなく、現在もかけがえのない友人です。また、先輩や後輩とのつながりも多く、上下関係の交流は社会で生かせる大きな経験となりました。社会人になると遊べる時間は限られるので、今のうちに存分に遊んでほしいです。遊びを通じてヒト・モノ・コトに触れてください。

皆さん、残りの学生生活を十分に謳歌してください。

藤原 もも 生命工学部健康栄養科学科（令和8年3月卒業） 就職先：エームサービス株式会社（瀬戸内市民病院配属）



私は今春から委託給食会社に就職し、現在は病院に配属され、医療現場の食を支える業務に携わっています。患者様の健康や治療に直結する責任ある仕事ですが、大学で学んだ知識が実際の現場で活かされる場面にやりがいを感じています。

大学生活を振り返ると、日々の課題やアルバイト、臨地実習、卒業論文、そして国家試験の勉強に追われ、慌ただしい毎日を過ごしていました。思うようにいかず悩むこともありましたが、同じ目標に向かって努力する友人たちと励まし合いながら乗り越えた経験は、卒業した今でも私を

支える大きな財産となっています。

社会人になり生活環境は大きく変化しましたが、学生時代に全力で取り組んだことや、出会った方々とのつながり、自分自身で考え選択してきた経験が今の私を支えてくれていると感じています。

学生の皆さんも、勉強や実習、アルバイトなど忙しい日々を送っていると思いますが、学生時代だからこそできる経験を大切にしながら、来年、再来年、数年後を見据えて一日一日を過ごしてください。

応援しています！

村上 綾香 薬学部薬学科（令和8年3月卒業） 就職先：兵庫県立がんセンター



私は、薬剤師として幅広い知識と専門性を身に付けるため、兵庫県への就職を希望しました。現在はがんセンターに所属して業務にあたり、充実した日々を送ることができています。私は就職活動をする際に、幅広く情報収集をすることを意識しました。就職先として薬局、病院、製薬会社など様々な選択肢がある中で、就職後に後悔をしたくなかったからです。まずは合同説明会で各業界について学び、候補を絞り込みました。そして、興味のある施設には積極的に見学に行き、現場の雰囲気を実際に感じるようにしました。自分の目で確かめた経験は、納得できる就職

活動を行う上で重要だったと思います。

実務実習や課題研究、国家試験に向けた勉強などで多忙な日々かと思いますが、ぜひ就職活動にも真剣に取り組んでください。積極的に動くことで、自分らしく働くことのできる職場を見つけられると思います。大学で身に付けた力や知識を発揮できる社会人を目指して、お互いに頑張りましょう。

新入生へのメッセージ

経済学部 あなたの夢を経済学部でかなえて下さい

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

現在ではメディアに景気、貿易、雇用など経済関連の記事が載らない日はありません。経済は現代社会で常に重要な位置



を占めていて、影響力があります。世界はグローバル化していて、ヒト、モノ、マネー、情報などが自由に国境を超えて移動します。本学卒業生も就職すれば海外に赴任、出張することが当然となりつつあります。

経済の領域や活動は、家計や企業にとどまらず、国家や世界全体さらには温暖化問題をはじめとした地球規模までその領域を拡げ、AIやDXといった情報化の進展とも重なって発展しています。経済学部では、柔軟な思考能力を持ち変化に適応して新社会を築ける人材の育成を目指して、経済学、経営学というモノの見方、考え方を活用して新たな価値を生み出す能力を養成します。

私たち教員は経済学、経営学の魅力を皆さんと共有したいと強く願っています。あなたの夢を経済学部でかなえて下さい。

経済学部長 早川 達二

人間文化学部 時は早く流れます。充実した学生生活を送ってください

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学生活が始まってすでに前期も後半を迎え、「時は思ったよりも早く流れる」と実感している人も多いのではないのでしょうか。現在、生成AIを使えばアニメーションや映画さえも作り出せる時代になり、この1年間での技術の進化には素晴らしいものがあります。実社会のあらゆる分野でAIの活用が進む一方、私たちは多くの課題にも直面しています。その一つが、「AIが導き出した答えの真偽」という問題です。AIは大量のデータを分析して答えを出しますが、それが常に正しいという保証はありません。その情報の真偽を見極め、正しく判断するために必要なのは、皆さん自身の学修能力と、これからの経験値です。大学という場所は、講義室の中だけではなく、研究や学修はもちろん、サークル活動や学外活動を通して、ぜひ多様な体験を重ねてください。皆さんが充実した学生生活を送れるよう、心から応援

しています。

メディア・映像学科長 筒本 和広



工学部 便利さの先を考える、それが工学の入り口

ご入学、おめでとうございます。

みなさんがこれから学ぶ工学は、便利なものや新しい技術を生み出す学問であると同時に、強い力を持つ技術を社会にどう置くかを考える学問でもあります。AIをはじめと



する現代の技術は、私たちの仕事や生活を大きく助ける一方で、使い方を誤れば思わぬ影響を及ぼすこともあります。

大学での学びは、答えを早く出すことだけを目的とするものではありません。「なぜそうなるのか」「本当に正しいのか」「他の選択肢はないのか」と問い続ける力を育てることが大切です。AIや道具を使ったとしても、それらが示した答えをうのみにせず、自分の言葉で説明できるかを、ぜひ意識してください。

大学は、失敗し、立ち止まり、考え直すことが許される場所です。焦らず、周囲と議論しながら、技術と社会をつなぐ視点を少しずつ育ててください。みなさんの学びが、これからの社会を支える力になることを、教員一同心から期待しています。

電気電子工学科長 香川 直己

生命工学部 生命を学ぶ皆さんへ — 福山の地で考える「共生」の形

新入生の皆さん、入学して3カ月。大学生活には慣れましたか。

生命工学部では、3学科でそれぞれ人や生物について多角的に学びます。私たちのキャンパスがある福山市には、その学びに関わる歴史的なスポットがあります。

昔、この地で流行した風土病を根絶するため、水路をコンクリートで固めて病気の媒介に必要な巻貝を駆除したことがありました。これにより病気はなくなり、人々の健康は守られましたが、同時に水路や小川からは多くの生き物たちが姿を消しました。

旧西国街道近くにあるこの石碑は、人間のために命を落とした水生生物たちを供養するために建てられました。これは日本人の優しさと同時に、人間の行いが持つ「光と影」を私たちに教えてくれます。

大学での学びは、ただ知識を得るだけではありません。物

事の多面性に気づき、小さな声にも耳を澄ませる力を養ってください。皆さんの飛躍を楽しみにしています。

健康栄養科学科長 菊田 安至



薬学部 「教わるから、学ぶへ — 薬学部での第一歩」

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

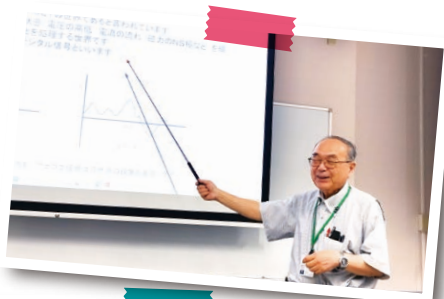
大学生活には、そろそろ慣れてきましたか。勉強は捗っています



すでしょうか。高校までは、時間割に従って受動的に学ぶ場面が多かったと思います。しかし大学は、自身に必要な知識・技能・態度を、自ら能動的に学ぶ場です。手を引かれて学んでいた生徒が、やがて社会で手を引く側の医療人・研究者へと成長する。その過程を支えるハブ (Hub) として、大学は学びの場を提供しています。

学ぶ目的は人それぞれでしょう。社会に貢献できる薬剤師になるため、新たな知見を見出し創薬・新薬開発に携わるため、興味ある薬学を深く修得するため——。それぞれの目標に到達できるよう、自ら学ぶ姿勢を整え、一歩踏み出してください。その一歩は、必ず皆さんの自信と勇気へとつながります。六年間は長いようで、あっという間です。時間を惜しんで学んでください。私たちは、自ら学ぼうとする学生を支援します。

薬学科 渡邊 正知



地域と歩み世界へ羽ばたくワイン「さくら」の挑戦

私たち生命工学部生物科学科では、福山商工会議所や福山市、そして地元ワイナリーなどで組織する「備後福山ワイン振興協議会」の一員として、ブドウ栽培が盛んな当地をワインの街としても盛り上げるべく、様々な取組を行っています。大学としては発酵人材の育成や地域資源を活かしたワイン醸造研究を進めてきました。この取組の中で誕生したのが、昨年4月に「山野峡大田ワイナリー」との共同開発でリリースした「さくら」ワインです。キャンパス内の「福山大学ワイン醸造所」を拠点に、原料には本学の「東村葡萄園」で学生たちが一生懸命に育てて収穫した福山大学産マスカット・ベリーAを使用しています。特筆すべきは、本学でワイン醸造への応用を目指して研究を進め、特許を取得した「NYR20 酵母(以下、桜酵母)」を用いて醸造している点です。本年3月まで4年間にわたり国の科学研究費助成事業(科研費)を受けたこの研究の成果である桜酵母は、ワインの色調を補い、深くて柔らかな口当たりをもたらします。

「さくら」ワインは昨年開催された「第20回世界バラ会議福山大会」の歓迎レセプションで世界の賓客にウェルカムドリンクとして提供され、大変好評を博しました。後日、この地域貢献に対して福山市の枝廣市長より感謝状が授与されました。「福山ばら

祭」ほか各種イベントに出展した「さくら」ワインのブースでは本学の学生たちが大活躍し、自分たちが育てたブドウや酵母の魅力を自らの言葉で説明を行いました。学生たちは教科書だけでは学べない「社会とつながる楽しさ」と「確かな自信」を手に入れました。さらに、今年5月に東広島市で行われた世界的な品評会「IWC2026 SAKE 部門審査会」の歓迎レセプションでも、昨年好評だった「さくら」ワインが提供されました。

この地域と歩む活動は2年目を迎え、さらなる進化を遂げています。2026年3月からは新たに「福山わいん工房」が加わり、同工房から自社栽培ブドウによるロゼワインが、山野峡大田ワイナリーからは微発泡赤ワインが発売されています。

自分たちの研究成果がお店に並ぶ商品になる。これこそが本学の学びの醍醐味です。在学生の皆さんには先輩の成果を誇りに自らの学びの刺激としていただき、保証人の皆様にはお子様がこうした地域に根差し世界へ繋がるダイナミックな環境で学ばれていることをお伝えできれば幸いです。今後とも温かいご声援をお願いいたします。

生命工学部生物科学科 准教授 吉崎 隆之



快挙！現役学生2名が税理士試験に科目合格

税務会計学科では、資格取得、特に会計の基礎である日商簿記検定を重点的にサポートしています。受講料の団体割引制度、現役税理士による資格取得支援講座の開催、資格取得時の報奨制度などを設けており、資格取得に取り組む学生を全力で応援しています。

このような資格取得のサポートを実施するなかで、2名の学生が2025年度の税理士試験において科目合格を果たしています。うち1名は福山大学入学時から日商簿記検定の学習を開始し、日商簿記検定3級、2級の合格を経たうえでの科目合格となっています。この結果は、学生本人の並々ならぬ努力によるものであることは間違いありません。しかし、同じように入学期から計画的に学習を進めることができれば、税理士のみならず、様々な難関資格へチャレンジし、合格を勝ち取ることができると考えています。また、合格を果たした2名の学生はともに、喜びの言葉として身近な方々への感謝を綴っており、その言葉がとても印象的でした。

税理士になるという大きな夢に近づいていると同時に、難関資格への挑戦の過程で周囲の人々の支えがあって学習が継続できているということに気づき、人間力も高まっていると感じています。このような学生たちがこれからどんどん現れてくるよう、税務会計学科は歩みを進めて参りたいと考えています。

税務会計学科 講師 勝田 篤



2025年度税理士試験に科目合格した2名の学生

税理士試験科目合格者2名の学部長表彰式

【心理学科】岡山県警と協働！心理学を活用した自転車の施錠を促す実験を実施！

岡山県警察と協働し、自転車盗対策を目的として、心理学の知見を活用したフィールド実験を実施しました。自転車盗被害の約7割は無施錠の自転車が対象であるとされており、施錠率の向上は重要な課題となっています。

本研究では、岡山県内の駅駐輪場4か所を対象に、無施錠の自転車へタグを取り付ける介入を行いました。近年、防犯分野では、人々の行動を自然に後押しする「ナッジ」が注目されて

います。本研究では、感情に働きかける「感情的ナッジ」に着目し、「自転車に鍵かけを！」と記載したタグを用いる統制条件と、「自転車に愛錠を！」と記載したタグを用いる愛錠条件を比較しました。「愛錠」には、自転車を大切に思い、愛情を持って鍵をかけてほしいという願いが込められています。

その結果、愛錠タグを設置した駐輪場では施錠率の向上が認められました。さらに、タグを取り外した後も施錠率の向上が維持される傾向が確認されました。これは、感情的ナッジが防犯行動の促進に有効である可能性を示す結果といえます。

本研究は、岡山県警察と福山大学が協働し、科学的根拠に基づいて防犯対策の効果を検証した取組です。これは、Evidence-Based Policing(エビデンスに基づく警察活動)の実践例の一つであり、今後も地域社会の安全・安心に貢献する研究を進めていきます。

心理学科 教授 大杉 朱美

【建築学科】神な備プレオープン1周年記念イベントを開催！

2025年3月にプレオープンした「学校法人福山大学神辺駅前サテライトキャンパス」は、「神な備—旧松本家住宅—」という愛称で地元でも親しまれています。旧西国街道沿いにある古民家で、最も古い主屋は江戸期までさかのぼれます。増改築を重ねたもので、大正期ののこぎり屋根の織物工場跡(工房)や昭和期の離れ(和室)などが中庭を囲んで建っています。プレオープンから1年間は、応急的な雨漏りや床の補修をしながら、単発イベントを実施してきました。今回は、建築学科開設50周年2026記念企画第4弾も兼ねて、神な備プレオープン1周年イベントをJR西日本と共催しました。近くの神辺駅舎内では福山大学生物科学科で醸造したワインなども販売して、将来の駅舎空間の利活用を考えるためのワークショップを行いました。また駅前では、建築学科の大畑友紀講師とOB学生によるピアノ&ギターライブも行われました。

神な備の建築は現状を生かしつつ、学生や地域の要望も聞きながら、5年間くらいの段階的なリノベーションを計画していま

す。その第1弾として、離れの和室に、貴重な備後中継ぎ畳表と藁床の畳を新調し、床の間には「龍鬢(りゅうびん)表」と呼ばれる畳表も敷きました。縁側や床脇の一部には、学生たちが備後柿渋を塗り込みました。イベントでは、これらの伝統建材について来場者の皆様に解説しました。

建築学科 教授 佐藤 圭一



神な備の離れ和室の備後中継ぎ畳表の解説

神辺駅前でのピアノ&ギターライブとワイン販売

世界初 フクロクジュクラゲの飼育に奮闘中！

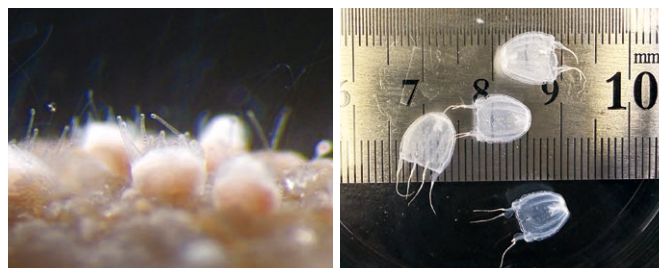
福山大学内海生物資源研究所の飼育水槽に、突如小さなクラゲが発生したのは2025年3月のことでした。その後の研究から、これがフクロクジュクラゲという非常に貴重なクラゲであることがわかりました。福山大学マリンバイオセンター水族館では、当初期間限定展示の予定でしたが、現在も常設展示として飼育と観察を続けています。

フクロクジュクラゲは、傘部分が縦長の直方体に近い形をしており、長頭の七福神である「福祿寿」に似ていることが名前の由来で、傘の長さが10cm以上に成長します。ハワイやオーストラリア、カリブ海に分布し、国内では沖縄諸島や先島諸島、相模湾で成体の採集記録がありますが、水槽内からポリプとして発見されたのは世界でも初めてのことで、その生態や成長の記録は記されていませんでした。そのため現在は鶴岡市立加茂水族館、新江ノ島水族館、九十九島水族館海きららと福山大学の4施設で協力しながら情報を共有しつつ、育成方法の研究を進めています。現在も試行錯誤の連続で、安定した飼育に

はまだ課題が残っています。

今後も大きな個体の育成を目指し、小さな変化を大切にしながら観察と飼育を続けています。すでに見たよ、という人も、育成過程をチェックにマリンバイオセンター水族館に足を運んでくれると嬉しいです。新たな報告にもご期待ください！

海洋生物科学科 准教授 水上 雅晴



水槽内で発見された1mmほどのポリプ

1cmまで成長したフクロクジュクラゲ

日本生化学会 JB論文賞を受賞 — リソソーム膜糖タンパク質 LAMP 研究45年の成果 —

私が責任著者として発表した研究論文が、2025年度日本生化学会「JB論文賞」を受賞しました(<https://academic.oup.com/jb/pages/jb-award>)。本賞は、欧文学術誌 Journal of Biochemistry の掲載論文の中から、特に学術的価値の高い研究成果に授与される表彰です。

受賞論文では、細胞内外のタンパク質などの高分子の分解を担う細胞小器官であるリソソームの膜に存在する糖タンパク質 LAMP-2 に注目し、3種類のアイソフォームが細胞内で異なる局在を示す分子機構を明らかにしました。さらに、その局在

の違いが各アイソフォームの生理機能とどのように関係しているかを示しました。LAMP-2 は、心筋症や骨格筋障害を特徴とする遺伝性疾患であるダノン病の原因分子としても知られており、本研究は基礎的知見でありながら、疾患理解の深化にもつながる成果です。

私は大学院時代より45年にわたり本研究分野に携わり、本学赴任後はモノクローナル抗体を用いたリソソーム膜糖タンパク質の分離・精製技術を確認してきました。これを基盤として、LAMP-2 の生合成過程および細胞内輸送機構の解明に取り組んできました。これら長年の基礎研究の積み重ねが、細胞内分解機構の理解を一段と深化させる成果として結実し、今回の受賞につながったと考えています。

福山大学で培われた研究と教育の成果が国際的に評価されたことは、本学にとっても誇りとなると考えております。

薬学部 教授 赤崎 健司



未来創造館から広がる、学生主導の新しい挑戦のかたち

未来創造館2階を拠点に活動するキャリアデザインゼミは、2016年度に活動を開始し、今年で11年目を迎えます。「キャリアデザイン」の授業から派生した自主ゼミとして、学部・学年を越えた学生が集い、活動理念「挑戦・成長・enjoy」を大切にしながら、学生主体の活動を展開しています。これまで、社会人基礎力育成グランプリでの全国大会進出・大賞受賞をはじめ、他大学交流、海外研修、企業支援によるチームビルディングなど、幅広い活動に取り組んできました。

2026年度は、ハワイ大学主催の日本インターンプログラムのサポートを拓殖大学商学部の学生と連携して進めるほか、3年振りとなる社会人基礎力育成グランプリ出場を目指し、新たなプロジェクトも始動しています。

4年生リーダーの長尾実輝さん(経済学科)は、「メンバー一人ひとりが仲間として支え合い、刺激を受け合える環境づくりに力を入れたいです。」と今年度の思いを語り、3年生リーダーの村上風華さん(メディア映像学科)は、「私は『全力で挑戦する経

験』を大切にしたいです。卒業する時に、自分が自慢できる自分になれるように頑張ります。」と今後の抱負を述べています。

これからもキャリアデザインゼミは、学生が自分の可能性を広げ、学内外での交流を通して未来への挑戦を楽しむ実践の場として活動していきます。

CAREER
DESIGN
LAB.

LIFE IS WHAT YOU MAKE IT.

キャリアデザイン
ゼミロゴマーク

大学教育センター 准教授 前田 吉広



ビクトリア州政府Global Victoria訪問(海外研修)の様子



学長室訪問(2025年度活動報告)の様子

第15回「福山大学の桜」ミニフォトコンテストを実施！

自然豊かなキャンパスの春の魅力を共有することを目的に、第15回「福山大学の桜」ミニフォトコンテストを開催しました。今年は入学式の頃に桜が満開を迎え、新たな門出を優しく彩る風景を収めた作品が数多く寄せられました。それぞれの「はじまりの春」を映した作品はセレクト上で公開され、投票審査を経て各賞受賞作品が決定しました。

- 最優秀賞「花よりオレ」
薬学部 薬学科 6年生
宮丸 みのり さん



最優秀賞「花よりオレ」

- 優秀賞「春の回廊」
人間文化学部 メディア・映像学科 2年生
林 朋美 さん
- さくら賞「水鏡に咲く夜」
薬学部 薬学科 6年生
山本 莉緒 さん
- さくら賞「日常」
経済学部 税務会計学科 3年生
佐藤 奏 さん

最優秀賞作品の撮影者コメントには、「桜を見ていたら、こちらに寄ってきたショコラ」とありました。ショコラは、本学のSDGsの取組の一環として迎え入れた山羊です。構内の除草によってキャンパスの維持管理に貢献し、学内で親しまれていま



優秀賞「春の回廊」



さくら賞「水鏡に咲く夜」



さくら賞「日常」

す。被写体に寄った構図の中で、頭上にちょこんと重なる桜色の帽子が春の気配を添え、笑顔を誘う一枚として多くの支持を集めました。

投票には、「学校ならではの風景なので良い」「桜の儚さが表れた写真だった」などのコメントが寄せられました。今年は短い見頃の中でも、構図や時間帯の工夫により桜の表情が豊かに表現され、青空、夜景など多彩な風景が揃いました。

応募および投票にご参加くださった皆さん、そして開催にご尽力いただいた関係部署の皆さんに、心より感謝申し上げます。

学生委員長 鶴崎 健一

令和8年度 福山大学学生表彰について

令和8年度「学長賞」(学業部門)受賞者は、下記の36名が選ばれました。

学務部 学生課

令和8(2026)年度 学生表彰 一覧表

学長賞【学業部門】

学 部	学 科	学 年	氏 名
経済学部	経済学科	2年	瀧 くるみ
経済学部	税務会計学科	2年	勝原 茉央
人間文化学部	人間文化学科	2年	本沖 菜々
人間文化学部	心理学科	2年	仙波 美桜
人間文化学部	メディア・映像学科	2年	井上 紗優
工学部	建築学科	2年	安原 悠貴
工学部	情報工学科	2年	山口 紀哉
工学部	機械システム工学科	2年	中田 歩邑
生命工学部	生物科学科	2年	福田 結香
生命工学部	健康栄養科学科	2年	田頭 和樹
生命工学部	海洋生物科学科	2年	CHEW YI ZHEN
薬学部	薬学科	2年	葛西 春菜
経済学部	経済学科	3年	永留 瑞月
経済学部	国際経済学科	3年	吉村 厚嬉
経済学部	税務会計学科	3年	越智 紗良
人間文化学部	人間文化学科	3年	吉原 菜々子
人間文化学部	心理学科	3年	木地谷 真実
人間文化学部	メディア・映像学科	3年	大越 ひいな

学 部	学 科	学 年	氏 名
工学部	建築学科	3年	前田 蓮
工学部	情報工学科	3年	石川 以絆
生命工学部	生物科学科	3年	黒川 萌花
生命工学部	健康栄養科学科	3年	林 瑠里子
生命工学部	海洋生物科学科	3年	佐々木 飛玄
薬学部	薬学科	3年	堂前 日菜子
経済学部	経済学科	4年	川本 陸
経済学部	国際経済学科	4年	溝入 愛華
経済学部	税務会計学科	4年	佐々田 祭
人間文化学部	心理学科	4年	池岡 愛紗
人間文化学部	メディア・映像学科	4年	愛甲 凜
工学部	建築学科	4年	金原 優花
工学部	情報工学科	4年	秋田 彩花
工学部	機械システム工学科	4年	佐伯 拓都
生命工学部	生物科学科	4年	錦織 大介
生命工学部	海洋生物科学科	4年	重光 春菜
薬学部	薬学科	4年	本田 くるみ
薬学部	薬学科	5年	宮尾 倫太朗

研 究 活 動

2026年度 科学研究費助成事業

★研究種目

◎研究代表者氏名・所属・職名・(研究期間)
研究課題・(2026年度交付金額)

★学術変革領域研究A

- ◎安藤 孟梓 人間文化学部 准教授 (2026年～2027年度)
内受容感受性とVRにおける性的少数者アバターの身体化が共感を促進する過程の検証 (150万円)

★基盤研究C

- ◎清田 美紀 経済学部 教授 (2026年～2028年度)
男女共習体育における実践要因と教員がもつ授業観との逐次的因果関係 (180万円)
- ◎平 伸二 人間文化学部 教授 (2025年～2027年度)
隠匿情報検査における系列内変動のメカニズムの検討：随伴陰性変動による研究 (40万円)
- ◎安田 暁 人間文化学部 教授 (2025年～2028年度)
パースペクティブの再想像：レンズシステムの応用による写真・イメージ遠近法の再考 (70万円)
- ◎岩崎真梨子 人間文化学部 准教授 (2022年～2026年度)
発達障害者のコミュニケーション支援システムの開発 (10万円)
- ◎寺田 和永 人間文化学部 准教授 (2025年～2027年度)
日本版PBSの導入と効果検討 (40万円)
- ◎中野 美奈 人間文化学部 准教授 (2026年～2029年度)
日本の就労者向け短期オンライン・セルフ・コンパッションプログラムの開発と検証 (110万円)
- ◎金平 希 人間文化学部 講師 (2026年～2029年度)
観察・評価・介入をつなぐ発達障害親子におけるEA支援の検証 (80万円)
- ◎伊澤 康一 工学部 教授 (2024年～2026年度)
ZEB実現のための自然エクセルギー利用暖冷房・換気システムの最適設計の検討 (110万円)
- ◎佐藤 圭一 工学部 教授 (2026年～2030年度)
備後柿洪の栽培・製造・流通・施工に関する実践的臨地研究 (60万円)
- ◎藤谷 秀雄 工学部 教授 (2026年～2028年度)
免震構造の擁壁衝突時のリアルタイムハイブリッド実験を活用した上部構造の応答評価 (130万円)
- ◎池岡 宏 工学部 教授 (2024年～2026年度)
アオリ光学距離推定におけるBPF絞りの新たな開口形状の検討と用途別最適化手法の確立 (90万円)
- ◎滑川 裕介 工学部 准教授 (2024年～2026年度)
格子量子色力学による高密度領域の開拓 (90万円)
- ◎森田 翔太 工学部 講師 (2025年～2027年度)
自己聴取音の主観的印象に関する研究 (70万円)
- ◎佐藤 淳 生命工学部 教授 (2022年～2026年度)
糞中DNAから哺乳類の食性を解明する基盤の確立 (30万円)
- ◎内海 好規 生命工学部 教授 (2026年～2028年度)
植物特異的な澱粉物性を決定する『遺伝子-構造-物性』相関の定量的解明 (160万円)
- ◎金子 健司 生命工学部 教授 (2026年～2028年度)
流れ藻は藻場の生物をつないでいるのか？ (90万円)
- ◎真田 誠至 生命工学部 准教授 (2024年～2026年度)
水族館展示を活用した水界の視覚化と学習教材の開発 (110万円)
- ◎泉 貴人 生命工学部 講師 (2024年～2026年度)
日本産ニューストン性ヒドロ虫の系統地理-“帆”の有無は種分化まで左右するのか- (90万円)
- ◎山本 知里 生命工学部 講師 (2025年～2028年度)
イルカにおける対立に対処する“ころ”の検討 (70万円)
- ◎佐藤 雄己 薬学部 教授 (2024年～2026年度)
神経内分泌ペプチドに着目したクロザピン副作用バイオマーカー開発と漢方治療への応用 (30万円)
- ◎重永 章 薬学部 教授 (2024年～2026年度)
コンディショナルプロテオミクスの課題を克服するラジカル再結合型ラベル化試薬の創出 (110万円)
- ◎竹田 修三 薬学部 教授 (2024年～2026年度)
脂肪酸アナログ有機フッ素化合物による乳がん悪性化の分子機構 (120万円)

- ◎松岡 浩史 薬学部 教授 (2024年～2026年度)
核内受容体の作動性リガンドの探索と動脈硬化治療への応用 (100万円)
- ◎道原 明宏 薬学部 教授 (2025年～2027年度)
コレステロール逆輸送系を促進させる動脈硬化抑制作用と新規治療薬への応用 (90万円)
- ◎上敷領 淳 薬学部 准教授 (2026年～2028年度)
コレステロールトランスポーターを標的とした機能性食品開発への革新的アプローチ (120万円)
- ◎広瀬 雅一 薬学部 准教授 (2025年～2027年度)
教育用電子薬歴の開発と薬学的管理能力の向上への応用 (90万円)
- ◎前原 昭次 薬学部 准教授 (2026年～2028年度)
植物-エンドファイト間共生システムを利用した新型コロナウイルス感染症治療薬の開発 (120万円)
- ◎小田 康祐 薬学部 准教授 (2024年～2026年度)
シダーウイルスをモデルとしたヘニパウイルス脳炎再発機序の解明と治療戦略への応用 (100万円)
- ◎今井 航 大学教育センター 教授 (2026年～2029年度)
中華民国北京政府期のカリキュラム政策に見る米国教育の受容と変容に関する実証的研究 (120万円)

★若手研究

- ◎田中 征史 経済学部 准教授 (2024年～2026年度)
機械化が賃金格差と経済成長に及ぼす影響：労働供給面からのアプローチ (110万円)
- ◎奥村 尚大 人間文化学部 講師 (2026年～2029年度)
文学者と行刑関係者の人的ネットワークの研究—寺光忠関係文書と行刑専門誌を中心に (70万円)
- ◎反田 智之 人間文化学部 講師 (2026年～2030年度)
注意定位位置のフィードバックによる注意・記憶の統合的制御 (50万円)
- ◎波光 涼風 人間文化学部 講師 (2024年～2026年度)
注射恐怖克服のための自助プログラム開発と効果検証 (100万円)
- ◎向井 智哉 人間文化学部 講師 (2025年～2027年度)
市民は刑事司法とどう関わるのか：刑事司法参加の実証的検討 (110万円)
- ◎天満 誠也 工学部 講師 (2026年～2028年度)
テキストマイニングによる患者向医薬品ガイドのピクトグラム化すべき注意事項の抽出 (130万円)
- ◎上野 貴弘 工学部 助教 (2025年～2027年度)
メンタルヘルス症状を偏見なく自覚できる曖昧表現インターフェース (100万円)
- ◎番匠谷研吾 薬学部 講師 (2024年～2026年度)
脳腫瘍における機能性高分子を利用した中性子捕捉療法のための新規ホウ素薬剤の開発 (130万円)
- ◎志摩亜季保 薬学部 助教 (2026年～2027年度)
NPC1L1を介したビタミンD吸収とVDR制御機構の解明 (70万円)
- ◎楊 潔氷 国際センター 准教授 (2025年～2027年度)
黙読時の内声化を客観的に測定する方法の開発及び内声化が有効に働く条件の解明 (60万円)

★研究活動スタート支援

- ◎鈴木 伸 経済学部 講師 (2025年～2026年度)
EU構造基金が地方財政にもたらす影響の実証研究—フィンランドの事例から (70万円)
- ◎両角 遼平 人間文化学部 講師 (2024年～2026年度)
ナショナル・アイデンティティを視点とした豪国社会系教科カリキュラム構成原理の分析
＜最終年度補助事業期間延長中＞ (0万円)
- ◎大畑 友紀 工学部 講師 (2024年～2026年度)
社会的マイノリティの暮らしに配慮した都市・居住環境の必要性と評価指標に関する研究
＜最終年度補助事業期間延長中＞ (0万円)
- ◎佐藤 嘉晃 大学教育センター 講師 (2025年～2026年度)
先行名詞を修飾するas節表現の通時的構文分析 (100万円)

学 内 人 事

【教員】

◎名誉教授称号授与

前 経済学部	教授	足 立	浩 一
前 工学部	教授	真 鍋	圭 司
前 生命工学部	特任教授	原 口	博 行
前 薬学部	教授	片 山	博 和
(以上4月1日付)			

◎就任(役職関係)

副学長	伊 丹	利 明
学長補佐	仲 嶋	一
大学院工学研究科長	仲 嶋	一
大学院工学研究科生命工学系研究科長	伊 丹	利 明
経済学部長補佐	善 野	吉 博
生命工学部長補佐	菊 田	安 至
経済学部経済学科長	善 野	吉 博
経済学部税務会計学科長	飯 田	哲 也
人間文化学部人間文化学科長	清 水	洋 子
工学部機械システム工学科長	田 中	寿 夫
生命工学部生物科学科長	岩 本	博 行
生命工学部健康栄養科学科長	菊 田	安 至
国際センター長	伊 丹	利 明
安全安心防災教育研究センター長	仲 嶋	一
備後圏域経済・文化研究センター長	大 城	朝 子
附属図書館分館長	木 平	孝 高
社会連携センター副センター長	岩 本	博 行
研究推進委員会副委員長	仲 嶋	一
(以上4月1日付)		

◎退任(役職関係)

経済学部長補佐	飯 田	哲 也
経済学部経済学科長	吉 田	卓 史
人間文化学部人間文化学科長	柳 川	真 由 美
工学部機械システム工学科長	木 村	純 壮
附属図書館分館長	佐 藤	雄 己
(以上3月31日付)		

◎定年退職

経済学部	教授	足 立	浩 一
人間文化学部	教授	赤 澤	淳 子
工学部	教授	仲 嶋	一
工学部	教授	真 鍋	圭 司
生命工学部	教授	岩 本	博 行
生命工学部	教授	松 崎	浩 明
生命工学部	教授	菊 田	安 至
(以上3月31日付)			

◎辞職

経済学部	教授	野 村	宗 訓
経済学部	講師	戸 村	貴 史
経済学部	教授	張	楓
人間文化学部	准教授	市 原	晋 平
工学部	教授	河 口	佳 介
薬学部	助手	伊 達	有 子
(以上3月31日付)			

◎任期満了

経済学部	教授	佐 藤	彰 三
生命工学部	教授	石 井	香 代 子
生命工学部	講師	森 川	晶 子
生命工学部	特任教授	原 口	博 行
(以上3月31日付)			

◎再雇用期間満了

薬学部	教授	片 山	博 和
社会連携センター	助教	中 村	雅 樹
(以上3月31日付)			

◎昇任

経済学部	教授	石 丸	敬 二
経済学部	教授	大 城	朝 子
経済学部	准教授	田 中	征 史
経済学部	講師	堀 田	彩
人間文化学部	教授	大 杉	朱 美
工学部	教授	伊 澤	康 一
生命工学部	准教授	水 上	雅 晴
薬学部	教授	大 西	正 俊
薬学部	准教授	広 瀬	雅 一
薬学部	准教授	西 山	卓 志
大学教育センター	講師	Suzuki Heather Anne	
国際センター	教授	趙	健 紅
社会連携センター	講師	酒 井	要
(以上4月1日付)			

◎兼任

大学教育センター	准教授	波 部	雄 一 郎
内海生物資源研究所	准教授	水 上	雅 晴
安全安心防災教育研究センター	教授	伊 澤	康 一
安全安心防災教育研究センター	講師	大 畑	友 紀
IR室	准教授	田 中	征 史
備後圏域経済・文化研究センター	准教授	田 中	征 史
IR室	講師	天 満	誠 也
グリーンサイエンス研究センター	教授	大 西	正 俊
グリーンサイエンス研究センター	講師	山 本	知 里
グリーンサイエンス研究センター	講師	番 匠	谷 研 吾
備後圏域経済・文化研究センター	教授	中 嶋	健 明
工学部	講師	酒 井	要
(以上4月1日付)			

◎免兼任

安全安心防災教育研究センター	教授	池 岡	宏
安全安心防災教育研究センター	准教授	田 中	聡
(以上3月31日付)			

◎採用

経済学部	教授	清 田	美 紀
経済学部	教授	高 山	和 夫
経済学部	准教授	石 田	真
経済学部	講師	助 田	曉 次
経済学部	講師	松 村	悠 姫
経済学部	講師	呉	青
人間文化学部	教授	中 嶋	健 明
人間文化学部	教授	安 西	敦
人間文化学部	准教授	古 内	絵 里 子
人間文化学部	准教授	波 部	雄 一 郎
人間文化学部	講師	波 光	涼 風
工学部	教授	仲 嶋	一
工学部	准教授	岸 下	真 理
工学部	准教授	今 井	勝 喜
工学部	講師	天 満	誠 也
生命工学部	教授	伊 丹	利 明
生命工学部	准教授	岸	知 子
生命工学部	准教授	大 谷	真 紀
生命工学部	講師	山 本	知 里
生命工学部	講師	泉	貴 人
生命工学部	助手	諏 澤	侑 奈

生命工学部 助手 佛 円 あや
薬学部 准教授 小 田 康 祐
薬学部 講師 番 匠 谷 研 吾
薬学部 助教 本 田 真 知 子
薬学部 助手 高 原 千 穂
大学教育センター 講師 松 本 陵 磨
国際センター 准教授 楊 潔 氷
(以上4月1日付)
経済学部 教授 北 條 純 人
(7月10日付)

◎再雇用
生命工学部 教授 岩 本 博 行
生命工学部 教授 松 崎 浩 明
生命工学部 教授 菊 田 安 至
(以上4月1日付)

◎客員教授
経済学部 田 中 秀 征
経済学部 平 山 亮
工学部 長 岡 正 芳
工学部 河 口 佳 介
薬学部 菅 奈 奈 美
大学院工学研究科 西 田 友 是
(以上4月1日付)

◎特命講師
大学教育センター 向 井 勝 也
(4月1日付)

【職員】

◎定年退職
秘書室事務統括参事 麓 勉
学務部就職課上席課長 平 喜 美 恵
(以上3月31日付)

◎辞職
秘書室専門員 的 場 千 尋
(1月31日付)
広報部事務職員 廣 瀬 健 人
(2月28日付)
秘書室係長 富 久 翔
(3月31日付)
学務部国際交流課事務職員 ボ ー グ 圭 子
(4月24日付)
学務部教務課事務職員 小 川 美 咲
(5月31日付)

◎任期満了
入試広報室統括参事 和 田 照 文
(3月31日付)

◎昇任
秘書室上席室長 山 平 有 樹 子
経理部副部長,(兼)経理部用度2課長 岡 田 潤
学務部教務課専門員 池 本 大 作
学務部教務課係長 尾 崎 元
広報部広報課主任 桃 谷 実 莉
経済学部・人間文化学部事務室主任 金 只 成 世
(以上4月1日付)

◎配置換
経務部副部長,(兼)学校法人福山大学総務部総務課長,(兼)総務部庶務課長 明 石 麻 由 子
経理部副部長 林 孝 彦

秘書室長,(兼)学校法人福山大学秘書室長補佐 佐 久 間 基
経済学部・人間文化学部事務室事務長 楠 見 宣 昭
学務部就職課長 岡 田 祐 侍
学務部教務課参事 近 藤 正 之
秘書室係長,(兼)学校法人福山大学秘書室係長 伊 達 真 弥

入試広報室主任,(兼)学校法人福山大学入試広報室主任 吉 田 明 菜
総務部庶務課事務職員,(兼)総務部企画・文書課事務職員 中 林 大 貴
学務部学生課事務職員 大 野 奈 々
学務部教務課事務職員 小 川 美 咲
(以上4月1日付)

◎兼務
学校法人福山大学秘書室秘書主管 藺 頭 里 美
秘書室秘書主管 藺 頭 里 美
学校法人福山大学監査室長 坪 根 栄 俊
学務部教務課長 齊 藤 孝
(以上4月1日付)

◎免兼務
学校法人福山大学総務部総務課長 佐 久 間 基
学校法人福山大学入試広報室係長 伊 達 真 弥
広報部主任 吉 田 明 菜
総務部企画・文書課事務職員 桃 谷 実 莉
(以上3月31日付)

◎採用
学校法人福山大学参与,(兼)参事 岡 崎 文 憲
学校法人福山大学特別参事 平 山 亮
学校法人福山大学特別参事 藤 野 肇
学務部就職課上席課長 平 喜 美 恵
入試広報室統括参事,(兼)学校法人福山大学入試広報室統括参事 安 原 宏 成

入試広報室参事,(兼)学校法人福山大学入試広報室参事 増 井 誠 徳
入試広報室参事,(兼)学校法人福山大学入試広報室参事 児 玉 英 史
内海生物資源研究所技術職員 得 能 穰
内海生物資源研究所技術職員 柿 内 俊 二
学務部副部長 山 成 光 俊
学務部就職課事務職員 宇 都 舞 花
附属図書館事務職員(司書) 田 邊 詩 歩
附属図書館事務職員(司書) 山 野 佳 那
入試広報室参事,(兼)学校法人福山大学入試広報室参事 國 藤 生 美

総務部企画・文書課事務職員 牧 本 有 珠
広報部広報課長 田 中 祥 美
経理部用度1課事務職員,(兼)経理部用度2課事務職員 大 塚 悠 祐
経理部経理1課事務職員,(兼)経理部経理2課事務職員 玉 井 恵 子
工学部・生命工学部事務室事務職員 安 友 聖 哉
学務部国際交流課事務職員 ボ ー グ 圭 子
(以上4月1日付)

◎学校法人福山大学社会連携推進センター長 山 口 昌 宏
(4月1日付)

◎学校法人福山大学社会連携推進センター顧問 光 波 祥 二 郎
(4月1日付)

令和 7 年度 学校法人福山大学財務状況

貸借対照表

(令和8年3月31日) (単位：円)			
資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
固定資産	55,083,826,060	固定負債	2,378,117,661
有形固定資産	31,711,253,149	長期借入金	624,990,000
土地	6,905,160,619	退職給与引当金	1,647,058,438
建物	16,784,218,539	長期未払金	106,069,223
構築物	669,696,385	流動負債	2,227,974,387
教育研究用機器備品	2,338,265,057	短期借入金	47,760,000
管理用機器備品	21,269,537	未払金	80,187,486
図書	4,986,591,916	前受金	1,728,433,100
車両	677,027	預り金	120,231,148
船舶	5,374,069	賞与引当金	251,362,653
建設仮勘定	0	負債の部合計	4,606,092,048
特定資産	23,335,987,215	純資産の部	
第2号基本金引当特定資産	500,000,000	科目	金額
退職給与引当特定資産	1,647,058,437	基本金	56,208,422,150
減価償却引当特定資産	14,412,905,238	第1号基本金	55,220,422,150
校舎建設等引当特定資産	3,400,969,074	第2号基本金	500,000,000
創設準備引当特定資産	3,375,054,466	第4号基本金	488,000,000
その他の固定資産	36,585,696	繰越収支差額	△ 1,415,836,607
電話加入権	3,048,426	翌年度繰越収支差額	△ 1,415,836,607
施設利用権	600	純資産の部合計	54,792,585,543
保証金	33,316,670	負債及び純資産の部合計	
敷金	220,000	負債及び純資産の部合計	59,398,677,591
流動資産	4,314,851,531		
現金預金	3,950,517,598		
未収入金	329,063,795		
有価証券	0		
前払金	35,045,798		
仮払金	224,340		
資産の部合計	59,398,677,591		

貸借対照表

貸借対照表は、年度末における資産、負債、純資産(基本金、繰越収支差額)の状況を示すものです。資金収支計算書と事業活動収支計算書が単年度の収支を示すのに対して、貸借対照表はこれまでの財務状況の積み重ねを示しています。

資産の部	
固定資産	次の有形固定資産、特定資産、その他の固定資産の合計
有形固定資産	貸借対照表日後1年を超えて使用する有形の資産で、土地、建物、教育研究用機器備品、管理用機器備品、図書、車輛等
特定資産	基本金引当特定資産及び各種引当特定資産
その他の固定資産	電話加入権、施設利用権、有価証券等
流動資産	現金預金、未収入金、貯蔵品等
負債の部	
固定負債	長期借入金、退職給与引当金、長期未払金等
流動負債	短期借入金、未払金、前受金、預り金等
純資産の部	
基本金	学校法人が、その諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために組み入れた金額で、第1号基本金から第4号基本金があります
第1号基本金	教育活動を行うために取得した固定資産の価額
第2号基本金	将来取得する固定資産の取得に充てる金銭及びその他の資産の額
第3号基本金	奨学金等の基金として継続的に保持し、かつ、運用する金銭及びその他の資産の額
第4号基本金	恒常的に保持すべき資金として別に文部科学大臣の定める額
繰越収支差額	累積の収支状況を示しており、事業活動収支計算書の翌年度繰越収支差額と一致します

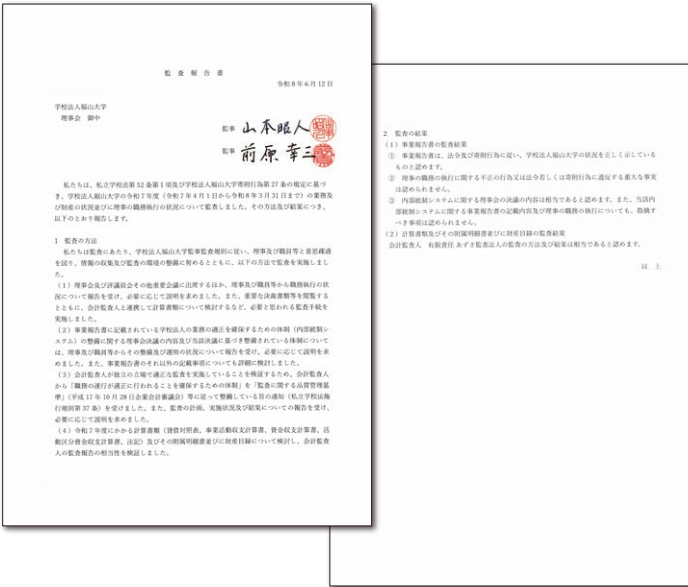
事業活動収支計算書

(令和7年4月1日～令和8年3月31日) (単位：円)	
科目	金額
教育活動収支	
事業活動収入の部	
学生生徒等納付金	5,129,294,841
手数料	79,893,747
寄付金	39,717,651
経常費等補助金	1,562,050,718
付随事業収入	49,104,830
雑収入	298,484,806
教育活動収入計	7,158,546,593
事業活動支出の部	
人件費	4,071,143,510
教育研究経費	4,004,173,642
管理経費	368,049,272
徴収不能額等	0
教育活動支出計	8,443,366,424
教育活動収支差額	△ 1,284,819,831
教育活動外収支	
事業活動収入の部	
受取利息・配当金	87,425,496
その他の教育活動外収入	0
教育活動外収入計	87,425,496
事業活動支出の部	
借入金等利息	5,843,878
その他の教育活動外支出	0
教育活動外支出計	5,843,878
教育活動外収支差額	81,581,618
経常収支差額	△ 1,203,238,213
特別収支	
事業活動収入の部	
資産売却差額	0
その他の特別収入	64,648,466
特別収入計	64,648,466
事業活動支出の部	
資産処分差額	2,613,251
その他の特別支出	267,700,000
特別支出計	270,313,251
特別収支差額	△ 205,664,785
基本金組入前当年度収支差額	△ 1,408,902,998
基本金組入額合計	△ 118,131,952
当年度収支差額	△ 1,527,034,950
前年度繰越収支差額	111,198,343
基本金取崩額	0
翌年度繰越収支差額	△ 1,415,836,607
(参考)	
事業活動収入計	7,310,620,555
事業活動支出計	8,719,523,553

事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、毎会計年度の3つの活動(教育活動、教育活動以外の経常的な活動、それ以外の活動)に対応する事業活動収入および事業活動支出の内容を明らかにするとともに、基本金に組み入れる額を控除した会計年度の諸活動に対応するすべての事業活動収入と事業活動支出の均衡の状態を明らかにするためのものです。

科目の説明	
事業活動収入の部	
学生生徒等納付金	授業料、入学金、実験実習料等の収入
手数料	入学検定料、休学者在籍料、各種証明書の発行手数料等の収入
寄付金	資金収支の寄付金収入に現物寄付を加えた額(施設設備に係る寄付は除く)
経常費等補助金	国や地方公共団体から交付される補助金収入(施設設備に係る補助金は除く)
付随事業収入	補助活動、附属事業、受託事業による収入
雑収入	上記以外の収入で学校法人の負債とにならない収入
受取利息・配当金	預金、有価証券等の利息や配当金による収入
その他の教育活動外収入	収益事業等からの収入
資産売却差額	資産売却収入が当該資産の帳簿価額を超えた場合の超過額
その他の特別収入	施設設備に係る寄付金、補助金及び過年度修正額による収入
事業活動支出の部	
人件費	教職員人件費、役員報酬、退職金、退職給与引当金繰入額、賞与引当金繰入額として翌期支給予定の賞与のうち、当期分を計上
教育研究経費	教育研究活動に要する経費で、消耗品費、光熱水費、旅費交通費、奨学費、通信費、印刷製本費等の支出に減価償却額を加えたもの
管理経費	教育研究活動以外の経費で、管理運営、学生募集等に要する支出に減価償却額を加えたもの
徴収不能額等	前年度以前に計上した未収入金等で、当年度において回収不能と判断した額
借入金等利息	借入金及び学校債の利息に係る支出
その他の教育活動外支出	為替差損等に係る支出
資産処分差額	資産売却収入が当該資産の帳簿価額を下回った場合の差額及び資産を売却した場合の除却損
その他の特別支出	会計基準の改正により特別に計上する退職給与引当金特別繰入額、賞与引当金特別繰入額
その他の項目	
基本金組入前当年度収支差額	当年度における教育活動収支、教育活動外収支、特別収支の全ての収入と支出の差額
基本金組入額合計	第1号基本金から第4号基本金の当年度組入額
当年度収支差額	基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額合計を控除した当年度の収支差額
前年度繰越収支差額	前年度までの累積収支差額
基本金取崩額	基本金を取り崩した場合の額
翌年度繰越収支差額	前年度繰越収支差額に当年度収支差額と基本金取崩額を加えた額で翌年度に繰り越す収支差額
事業活動収入計	当年度の事業活動収入の合計
事業活動支出計	当年度の事業活動支出の合計

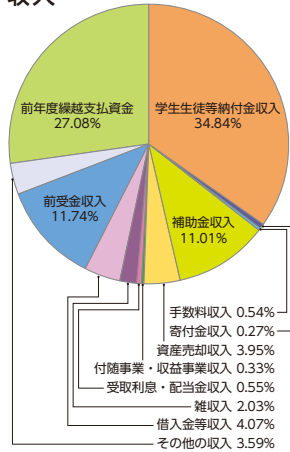


資金収支計算書

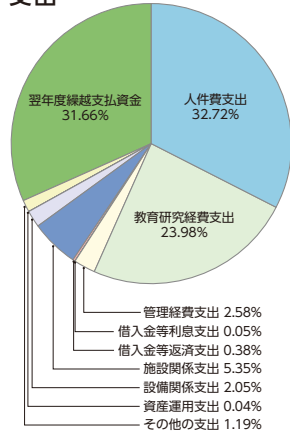
(令和7年4月1日～令和8年3月31日)(単位：円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	5,129,294,841	人件費支出	4,082,449,971
手数料収入	79,893,747	教育研究経費支出	2,992,121,411
寄付金収入	39,422,791	管理経費支出	322,200,968
補助金収入	1,621,185,718	借入金等利息支出	5,843,878
資産売却収入	580,920,205	借入金等返済支出	47,760,000
付随事業・収益事業収入	49,104,830	施設関係支出	667,804,759
受取利息・配当金収入	81,450,250	設備関係支出	255,398,680
雑収入	298,484,806	資産運用支出	7,993,644,017
借入金等収入	600,000,000	その他の支出	1,365,857,230
前受金収入	1,728,433,100	資金支出調整勘定	△ 70,380,546
その他の収入	9,734,275,040		
資金収入調整勘定	△ 2,317,499,995	翌年度繰越支払資金	3,950,517,598
前年度繰越支払資金	3,988,252,633	支出の部合計	21,613,217,966
収入の部合計	21,613,217,966		

収入



支出



上記のグラフは次のとおり調整しています。

- ① 資金収入・資金支出調整勘定を除外
- ② その他の収入・資産運用支出・その他の支出のうち、資産運用・預り金・仮払金に係るものは収入と支出を相殺

資金収支計算書

資金収支計算書は、企業会計におけるキャッシュ・フロー計算書に近いもので、学校法人が教育研究その他の諸活動を行うことにより生ずるすべての資金収支の内容を示しています。学校法人の資金収支計算書では、前受金、未収入金、未払金、前払金を加えたもので、個々の収入金額、支出金額は必ずしも企業会計におけるキャッシュ・フローとはなっていませんが、別途「資金収入調整勘定」と「資金支出調整勘定」を設けて、これら前受金等を調整することになり、総額としてはキャッシュ・フローを示しています。

科目の説明

収入の部	
学生生徒等納付金収入	授業料、入学金、実験実習料等の収入
手数料収入	入学校定料、休学者在籍料、各種証明書の発行手数料等の収入
寄付金収入	金銭及びその他の資産を寄贈者から贈与された収入
補助金収入	国または地方公共団体から交付される補助金収入
資産売却収入	帳簿残高のある固定資産等の売却による収入
付随事業・収益事業収入	補助活動、附属事業、受託事業および収益事業による収入
受取利息・配当金収入	預金、有価証券等の利息や配当金による収入
雑収入	上記以外の収入で学校法人の負債とならない収入
借入金等収入	返済期限が貸借対照日後1年を超えて到来する長期借入金と1年以内の短期借入金及び学校債の発行による収入
前受金収入	翌会計年度以後の諸活動に対応する収入を当該会計年度において資金収入したものの
その他の収入	上記以外の収入で、各種特定資産の取崩収入及び預り金等の収入
資金収入調整勘定	当年度の諸活動に対応する収入ですが、資金の収入が当年度中に行われず、前年度以前または翌年度以降となる項目を調整する勘定科目
支出の部	
人件費支出	教職員人件費、役員報酬、退職金に係る支出
教育研究経費支出	教育研究活動に要する経費で、消耗品費、光熱水費、旅費交通費、奨学金、通信費、印刷製本費等の支出
管理経費支出	教育研究活動以外の経費で、管理運営、学生募集等に要する支出
借入金等利息支出	借入金及び学校債に係る利息支出
借入金等返済支出	借入金及び学校債に係る返済支出
施設関係支出	土地、建物、構築物等の固定資産の取得に係る支出
設備関係支出	機器備品、図書、車両等の取得に係る支出
資産運用支出	各種特定資産への繰入支出、有価証券の取得に係る支出
その他の支出	上記以外の支出で、前払金、仮払金等に係る支出
資金支出調整勘定	当年度の諸活動に対する支出であるが、実際の資金の支出が前年度以前にあったものまたは、翌年度以降になるもの

財産目録

(令和8年3月31日現在)(単位：円)

一 資産額			31,747,838,845
(一) 基本財産			
1 土地	339,096 m ²		6,905,160,619
(1) 校地	194,189 m ²		3,709,234,824
(2) 運動場	101,032 m ²		2,672,325,891
(3) その他	43,875 m ²		523,599,904
2 建物	156,212 m ²		16,784,218,539
(1) 校舎	128,778 m ²		15,106,483,543
(2) 体育館	9,950 m ²		734,045,962
(3) その他	17,484 m ²		943,689,034
3 構築物			669,696,385
4 教育研究用機器備品	4,264 点		2,338,265,057
5 管理用機器備品	131 点		21,269,537
6 図書	460,800 冊		4,986,591,916
7 車両	31 台		677,027
8 船舶	2 艇		5,374,069
9 電話加入権			3,048,426
10施設利用権			600
11保証金			33,316,670
12敷金			220,000
(二) 運用財産			27,650,838,746
1 現金預金			3,950,517,598
(1) 現金			5,134,986
(2) 普通預金			3,715,514,914
(3) 当座預金			13,698,944
(4) 定期預金			210,000,000
(5) 郵便振替貯金			6,168,754
2 積立金			23,335,987,215
第2号基本金引当特定資産			500,000,000
(1) 普通預金			500,000,000
退職給与引当特定資産			1,647,058,437
(1) 普通預金			1,647,058,437
減価償却引当特定資産			14,412,905,238
(1) 普通預金			7,330,937,705
(2) 定期預金			1,000,000,000
(3) 有価証券			6,081,967,533
校舎建設等引当特定資産			3,400,969,074
(1) 普通預金			1,904,270,976
(2) 有価証券			1,496,698,098
創設準備引当特定資産			3,375,054,466
(1) 普通預金			1,875,172,465
(2) 定期預金			500,000,000
(3) 有価証券			999,882,001
3 未収入金			329,063,795
4 前払金			35,045,798
5 仮払金			224,340
合 計			59,398,677,591
二 負債額			
(一) 固定負債			2,378,117,661
1 長期借入金			624,990,000
2 長期未払金			106,069,223
3 退職給与引当金			1,647,058,438
(1) 役員			2,912,057
(2) 教員			1,267,850,189
(3) 職員			376,296,192
(二) 流動負債			2,227,974,387
1 短期借入金			47,760,000
2 未払金			80,187,486
3 前受金			1,728,433,100
4 預り金			120,231,148
5 賞与引当金			251,362,653
(1) 役員			1,940,335
(2) 教員			196,283,052
(3) 職員			53,139,266
合 計			4,606,092,048

令和9（2027）年度 入学者選抜の概要

令和9（2027）年度入学者選抜の日程は次のとおりです。その他、指定校推薦型選抜を実施しています。

◆入試日程

入試種別	出願期間	試験日	合格発表日
総合型選抜(一般) 第Ⅰ期	(エントリーシート提出期間) 令和8(2026)年 8月 7日(金) ～ 8月24日(月) (必着)	令和8(2026)年10月20日(火)	令和8(2026)年11月 1日(日)
総合型選抜(一般) 第Ⅱ期	(エントリーシート提出期間) 令和8(2026)年 9月18日(金) ～ 10月 5日(月) (必着)	令和8(2026)年11月25日(水)	令和8(2026)年12月 1日(火)
公募推薦型選抜A日程 《試験日自由選択制》	令和8(2026)年 11月 2日(月) ～ 11月10日(火) (消印有効)	令和8(2026)年11月17日(火) 令和8(2026)年11月18日(水)	令和8(2026)年12月 1日(火)
公募推薦型選抜B日程	令和8(2026)年 11月24日(火) ～ 12月 8日(火) (消印有効)	令和8(2026)年12月12日(土)	令和8(2026)年12月16日(水)
一般選抜前期A日程 《試験日自由選択制》	令和9(2027)年 1月 5日(火) ～ 1月25日(月) (消印有効)	令和9(2027)年 1月31日(日) 令和9(2027)年 2月 1日(月) 令和9(2027)年 2月 2日(火) 令和9(2027)年 2月 3日(水)	令和9(2027)年 2月 9日(火)
一般選抜前期B日程	令和9(2027)年 2月 4日(木) ～ 2月15日(月) (消印有効)	令和9(2027)年 2月20日(土)	令和9(2027)年 2月25日(木)
一般選抜後期日程	令和9(2027)年 2月22日(月) ～ 3月 2日(火) (消印有効)	令和9(2027)年 3月 7日(日)	令和9(2027)年 3月10日(水)
大学入学共通テスト 利用選抜 前期	令和9(2027)年 1月 5日(火) ～ 1月25日(月) (消印有効)	個別学力試験は課しません	令和9(2027)年 2月 9日(火)
大学入学共通テスト 利用選抜 後期	令和9(2027)年 2月22日(月) ～ 3月 2日(火) (消印有効)	個別学力試験は課しません	令和9(2027)年 3月10日(水)

※《試験日自由選択制》とは、上記試験日の中から、試験日を志願者が自由に選択できる制度です。

志願者は、同一学科を複数回志願することや、異なる学科を1日ずつ志願することもできます。

◇入学検定料、入学金及び授業料に関する支援措置について◇

本学では、地震・豪雨等により災害救助法が適用された地域において被災された方に対して、申請に基づき、公募推薦型選抜・一般選抜の受験生に対する入学検定料、入学金及び授業料に関する特別措置を行っております。

詳しくは、入試広報室にお問い合わせください。(TEL：084-936-0521，e-mail：kouhou@fukuyama-u.ac.jp)

編集後記

今号では、地域や社会と連携しながら取り組む各学部の多彩な姿をお伝えするとともに、卒業生それぞれの決意と在学生への思いが込められたメッセージ、そして先生方からの温かいエールもお届けすることができました。これらの言葉が皆さんの学生生活の糧となれば幸いです。今後も福山大学の今を学報を通じて発信してまいります。

発行 福山大学
編集 福山大学広報委員会
〒729-0292 広島県福山市学園町1番地三蔵
TEL(084)936-2111 FAX(084)936-2213

<https://www.fukuyama-u.ac.jp>